

“就職力”



4

他者を通じて自分を知ら

人も知っている自分の自分とは知っていないが他人は知らない自分③自分は知らないが他人は知っている自分④自分も他人も知らない自分⑤(イラスト参照)。

自分を理解する方法として、自分も他人も知っていない「開かれた自分」の領域を広げることをお勧めします。そのためには二つの手段があります。一つは、他人に見せていない自分を少なくすること、他人に対して積極的に自分を聞くことです。目こから自分の思いや考えを周囲に伝えること

とも大事です。もう一つは、自分は知らないが他人が知っている自分を狭くすること、つまり周囲からの意見をよく聴いて「他者を通じて自分」を受け入れることです。

得心のいかない評価を受けると、多くの人は「人の評価なんか気にしてられない」などと耳を傾けないことが多いものです。しかし「そう見える自分もいるのかも知れない」と受け入れることで「未見の我」に出会えるかも知れません。

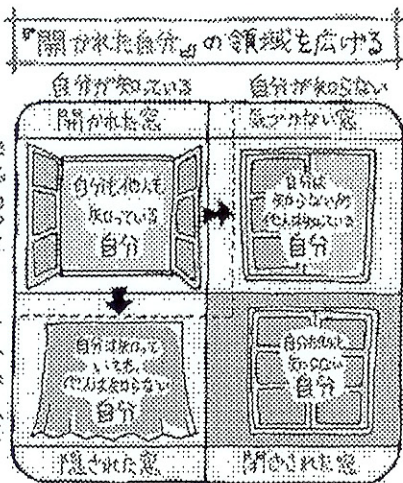
「こうして開かれた自分」

「こうして閉かれた自分」

今回は「他者を通じた自己理解」で紹介した「開かれた自分」の領域を広げることをお勧めします。そのためには二つの手段があります。一つは、他人に見せていない自分を少なくすること、他人に対して積極的に自分を聞くことです。目こから自分の思いや考えを周囲に伝えること

を得心する。もう一つは、自分は知らないが他人が知っている自分を狭くすること、つまり周囲からの意見をよく聴いて「他者を通じて自分」を受け入れることです。

「開かれた自分」の領域を広げる



他人が知っている
他人が知らない

す。
このほかの自己理解の手法として、適正検査や性格テストがあります。職業興味を見るものにはVPI(職業興味検査)、職業レディネステスト、キャリアアセスメント(診断)が代表的です。性格特性を見るものにはYG(性格検査)、新版TBG(東大エゴグラム)など、能力適性を見るものには厚生労働省編「一般職業適正検査」などがあります。

それぞれ意味のあるものですが、ハローワーク勤務の友人は「結果に縛られるくらいなら、やらない方がいい。自分が感じる自分とテスト結果の相違を察しむ余裕があれば、やってみたらいい」と言います。あなたのことをごくよく知ることができるとは、あなた自身であること忘れずに。(人材教育コンサルタント 坂巻美和子、イラストは 長編キヌエ)

「木曜日」に掲載します

11月一回掲載します

万全